

クロアチア情勢

主な出来事

2016年5月

内政

- 1日、オクチャニ(当国南部)において、1995年5月1日に開始された「閃光」作戦の21周年記念式典開催。オレシュコビッチ首相、ライネル議会議長、メドベド退役軍人相、シュンドフ参謀総長らが出席。
- 2日、ロザンチッチ治安・情報庁(SOA)長官が辞表提出。4日、議会内務・国家安全保障委員会は、賛成多数でマルキッチ現SOA国際協力部長を新長官に任命する旨支持。
- 2日、ユリチッチ大統領府長官が辞任し、キリニッチ同官房長が長官に就任。フメリナ同儀典長が官房長、トゥトリング同儀典首席補佐官が儀典長にそれぞれ就任した。また、トゥルシッチ同顧問評議会議長は、「アドリア＝バルト＝黒海」イニシアティブ調整顧問に任命された。
- 3日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、大統領府において、全国20の県知事およびバンディッチ・ザグレブ市長との会合を実施。
- 6日、農民党(HSU)党首選が実施され、フレリャ現党首が他2名の候補を抑えて再選(任期4年)。
- 9日、バルダザル・スプリット市長(社会民主党(SDP)スプリット支部長)がSDPからの離党を表明。
- 10日、グラバル＝キタロビッチ大統領およびオレシュコビッチ首相は、揃ってSOAを訪問し、マルキッチ新SOA長官をはじめとするSOA幹部との初会合を実施。今後も3者による定期会合が実施される予定。
- 13日、オレシュコビッチ首相は、スロベニアのテズノおよび喫ブライブルグを訪問し、第二次大戦終結後同地で殺害された犠牲者の追悼のため、献花を行った。また同日、ペトロフ副首相も喫ブライブルグを訪問・献花を行った。
- 13日、ヤンドロコビッチ議員およびムラカル議員(共にクロアチア民主同盟(HDZ)所属)は、HDZ議会クラブの副議長を辞任。
- 14日、ライネル議会議長、カラムルコ第一副首相、エシフ大統領特使他政府高官および議員らは、スロベニアのテズノおよび喫ブライブルグを訪問し、第二次大戦終結後に同地で殺害されたクロアチア人兵士(ウスタシャ)および市民ら犠牲者の追悼式典(「ブライブルグ名誉団」主催、議会後援)に出席。

- 18日、ミラノビッチSDP党首は、カラマルコ第一副首相(HDZ党首)に対する不信任決議案を議会に提出。27日、政府は臨時電話閣議を実施し、同不信任案へ反対する立場を決定(但し、右政府決定は議会での票決に影響しない)。
- 18日、議会は、元大統領に対する特別な権利を規定する改正法案を賛成81、反対44、棄権4で可決。右により、メシッチ元大統領が現在所有する事務所、公用車等の使用権利が6月1日より停止される見込み。
- 20日、議会は、ビドビッチ人権オンブズウーマンから提出された「2015年人権オンブズウーマン報告書」を反対多数(賛成:43、反対:63、棄権:4)で否決。
- 20日、オシエク県裁判所は、シシュラギッチ・オシエク・バラニャ県知事他1名に対する職権乱用および12万クーナ以上の横領容疑に対し、無罪判決。
- 27日、クロアチア軍創設25周年記念式典開催。グラバル＝キタロビッチ大統領兼同軍最高司令官、オレシュコビッチ首相、ライネル議会議長、シュンドフ参謀総長、ブリェビッチ国防相、メドベド退役軍人相らが出席した。
- 28日、与党第1党HDZ党内選挙実施。ブルキッチ現事務局長が筆頭副党首に選出された。

外交

- 3日、コバチ外務・欧州問題相は、当国訪問中のミトフ・ブルガリア外相と会談。ミトフ外相は、グラバル＝キタロビッチ大統領、ライネル議会議長、カラマルコ第一副首相とも会談した。
- 3日、カラマルコ第一副首相は、ドゥブロブニク・ネレットバ県およびドゥブロブニク市の代表団を率いてボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)のイバニツァを訪問し、チョービッチBH大統領評議会メンバー(クロアチア系)と意見交換。
- 5－6日、コバチ外務・欧州問題相は、チェコを訪問し、ザオラーレク同国外相と会談。また、ソボトカ首相とも会談した。
- 6－7日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、安全保障フォーラム「To Be Secure」出席のため、モンテネグロのブドウバを訪問。
- 7日、コバチ外務・欧州問題相は、ケリー米国务長官と電話会談を実施。地域のエネルギー・ハブとなり得るクロアチアの将来につき協議した。
- 9日、コバチ外務・欧州問題相は、ポーランドを訪問し、ヴァシチコフスキ同国外相と会談。
- 9－11日、ブリェビッチ国防相は、エンソール・ヨルダン国防相の招待でヨルダンを訪問。
- 10日、グラバル＝キタロビッチ大統領、オレシュコビッチ首相およびライネル議会議長は、当国訪問中のニシャニ・アルバニア大統領と会談。翌11日、両大統領は、「クロアチア・アルバニア・ビジネスフォーラム」に出席。
- 12－13日、当国南部ドゥブロブニクにおいて、欧州委員会およびクロアチア政府共催の第1回「アドリア・イオニア地域のためのEU戦略フォーラム(EUSAIR)」閣僚級会合開催。同フォーラム参加8か国(クロアチア、ギリシャ、伊、スロベニア、アルバニア、BH、モンテネグロ、セルビア)が署名した「ドゥブロブニク宣言」が発出された。

- 16－17日、ライネル議会議長は、BHのサラエボ、モスタル、バニャ・ルカ(スルプスカ共和国(RS))を訪問。サラエボにおいて、イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長およびチョービッチ同メンバー、ズビズディッチBH閣僚評議会議長(首相)、ボシッチBH議会下院議長、プーリッチ・サラエボ大司教と会談(16日)、バニャ・ルカにおいて、ストイチッチRS国民議会副議長と会談(17日)。
- 17－19日、グラバル＝キタロビッチ大統領(パネニッチ経済相、ホルバット中小企業相、ブリェビッチ国防相同行)は、イランを公式訪問し、ローハニ同国大統領と会談(18日)。また、ラリジャンニ議会議長、ラフサンジャニ公益評議会議長、ザリーフ外相とも会談した。
- 19－20日、コバチ外務・欧州問題相は、NATO外相会合出席のため、ブリュッセルを訪問。ケリー米国务長官との立ち話を行った。
- 20－21日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、「確固たる支援」任務(RSM)に参加しているクロアチア軍要員と面会するため、アフガニスタン北部マザーリシャリーフを訪問。カブールでアブドゥラー同国行政長官と会談。
- 23－24日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、イスタンブールで開催された国連主催「世界人道サミット」に出席。
- 23－24日、ライネル議会議長は、EU議会議長会合出席のため、ルクセンブルクを訪問。同会合の際、ブルグレス・スロベニア国民議会議長と会談。
- 23日、コバチ外務・欧州問題相は、EU外務理事会出席のため、ブリュッセルを訪問。
- 24日、コバチ外務・欧州問題相は、エロー仏外務・国際開発相およびデジール欧州問題担当長官が主催した外相級「ブリドー・ブリュニ・プロセス」準備会合出席のため、パリを訪問。同会合の際に、エロー外務・国際開発相と二国間会談を実施した。
- 29日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、サラエボで開催された「ブルドー・ブリュニ・プロセス」首脳会合に出席。同会合に際して、ニコリッチ・セルビア大統領と会談。
- 29－30日、コバチ外務・欧州問題相は、イスラエルを訪問し、ネタニヤフ同国首相兼外相と会談(30日)。また、ホロコースト記念館(Yad Vashem)を訪問した。
- 30－31日、オレシュコビッチ首相は、パリを訪問し、ヴァルス仏首相およびグリア経済協力開発機構(OECD)事務総長と会談(30日)。
- 30日、ブリェビッチ国防相は、サラエボを訪問し、ペンデシュBH国防相と両国間の防衛協力について協議。
- 31日、コバチ外務・欧州問題相は、南東欧協力プロセス(SEECP)外相会合出席のため、ブルガリアを訪問。
- 31日、オレピッチ内相は、サラエボを訪問し、メクティッチBH内相と両国間の警察協力について協議。
- 31日、プポバツ議員(セルビア民族評議会(SNV)議長)は、ベオグラードを訪問し、ブチッチ・セルビア首相とクロアチア・セルビア関係につき協議。両国間協力の刷新、対話の必要性に同意した。

経済

- 3日、欧州委員会は2016年春季経済予測を公表。同公表においてクロアチアの2016年の経済成長率は1.8%と下方修正(昨年同冬期予測時点では同2.1%)した。かかる下方修正は2015年第4四半期における政府投資の減少を反映したもの。
- 10日、IMF(国際通貨基金)は4条協議終了にあつて、クロアチアの経済成長率予測を公表。2016年の成長率は1.9%であり、中期的には2-2.25%の成長率で推移すると予測。
- 11日、EBRD(欧州復興開発銀行)は、クロアチアの経済成長率予測を公表。2016年の成長率は1.5%としており、前回の予測より約0.5%の上方改定となった。2017年の成長率も1.5%と予測。
- 11日、クロアチア政府は8つの国有企業(ポドラブカ、ACI、コンチャル、ペトロケミカ、クロアチア航空、リエカ港、クロアチア銀行、クロアチア生命保険)を国営企業改革計画(国営企業を、①特段問題ないため民営化の対象外、②経営悪化等によりリストラ・民営化・売却対象、③国の持ち分は既に50%以下で将来更に持ち分を売却する可能性あり、との3カテゴリーに分類して企業改革を進める)の対象外とすることを決定。
- 18日、クロアチア中央銀行はEUの「銀行同盟」に関する会議を開催。同講演の中でショシツチ・クロアチア中央銀行副総裁は、クロアチアの本同盟への参加について、本同盟にはまだ調整事項が多く残されていることから、結論を急ぐべきではないとの見解を示した。
- 31日、クロアチア統計局は2016年1-3月期GDPを発表。本年第1四半期の経済成長率は前年比2.7%となり、6四半期連続のプラス成長となった。

主要経済指標

(2016年月次データ、対前年同期比(除く失業率)、政府統計局発表)

輸出総額 (3月)	輸入総額 (3月)	貿易赤字 (3月)	工業生産高 (4月)	インフレ率 (4月)	失業率(登録制) (4月)
+3.9% (205.5億クーナ, 26.9億ユーロ)	+4.0% (340.7億クーナ, 44.6億ユーロ)	+4.2% (135.3億クーナ, 17.7億ユーロ)	+4.9% (3月:6.9%)	-1.7% (3月:-1.7%)	15.9% (3月:17.2%)

本クロアチア情勢は、クロアチアの政治・経済情勢を中心に各種報道、発表をとりまとめたものです。記載事項については在クロアチア日本大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。